

2004年度

北川 初マラソンで日本人最高の2位

北海道マラソン (北海道：札幌市)

北川敬大

マラソン 2時間14分48秒 (2位)

北川(大塚製薬)が2位男子

女子 千葉は2度目の制覇

北海道マラソン

北海道マラソンは29日、札幌市の真駒内屋外競技場から中島公園までのコースで男女同時スタートで行われ、男子はラバン・カギカ(JFE)が2時間12分20秒で初優勝。徳島の北川敬大(大塚製薬、美馬商高)が2時間14分48秒で日本人最高の2位に入った。女子はアテネ五輪補欠の千葉真子(豊田自動織機)が2時間26分50秒で3年ぶりの2度目の優勝を果たした。男子は前半、外国勢3人が先行。30キ手前でカギカが先頭に出て、一気に引き離した。女子は、千葉真子が28キ地点でスパートをか

け独走態勢に。向かい風の中、千葉は終始安定した走り、余裕の表情でテープを切った。(スタート時曇り、気温17・8度、湿度80%、南南西の風1・3級)  
【男子】①ラバン・カギカ(JFE) 2時間12分20秒②北川(大塚製薬) 2時間14分48秒③里内(スズキ) 2時間14分55秒④押切(愛三工業) 2時間15分9秒⑤チェロノ(ケニア) 2時間15分20秒⑥藤井(ホンダ浜松) 2時間15分40秒⑦森下(旭化成) 2時間16分0秒⑧西村(YKK) 2時間16分33秒⑨千葉(大塚製薬) 2時間17分36秒⑩服部(大塚製薬) 2時間26分40秒  
【女子】①千葉真子(豊田自動織機) 2時間26分50秒②由上(ユニクロ) 2時間29分43秒③ヤロス(ポーランド) 2時間35分38

秒④中山(ホクレン) 2時間35分46秒⑤根来(北国銀行) 2時間37分51秒⑥小林(サニックス) 2時間39分6秒⑦甲斐(デンソー) 2時間40分52秒⑧熊谷(SII) 2時間40分56秒

初マラソンで川

日本人最高位 北

マラソン初挑戦で日本人最高位の2位に食い込んだ北川II写真。レース後、「目標にしていた2時間15分を切る事ができてうれ



しい」と喜んだ。

序盤は予想以上のスローペース。「周りの選手を見ながら冷静に走れた」。30キ地点で2位争いはケニア勢を含む6人に絞られ、40キ過ぎでは里内との一騎打ちになった。「きつかったけど絶対に負けたくなかった」という北川は残り500キでスパート。スプリント勝負の末、7秒差をつけ里内を振り切った。大塚製薬に入ってから5年目。これまではトラック種目が専門だったが、今シーズンには念願のマラソンに挑戦に向けて高地トレーニングに励んできた。「今後はレース経験を積み、もっとタイムを短縮したい」と意欲をのぞかせた。